

キャンパス万華鏡 一コロナ下でのアイデア作品(2面からの続き)

## 木製フレームでパーティションを作成



大阪成蹊大学

**大**阪成蹊大学芸術学部インテリア・プロダクトデザインコースの学生が、実習教室で活用する飛沫感染リスク低減を目的とした木製フレームのパーティションを、造形芸術専門展開演習2(担当:赤西信哉准教授)の授業で制作した。パーティションは赤松角材とOPPシートで作られており、従来のアクリル板製のパーティションと比較して、大幅な材料コストの削減、軽量化による移動の容易性を実現し、収納時には省スペース化のためにスタッキングできるよう設計されている。

## 最新技術で学位記授与式 北海道科学大学

**北**海道科学大学では、学位記授与式の規模縮小により式典での学位記授与が叶わなかった卒業生のため、「HUSバーチャル学位記授与式」を実施した。期間限定で学内に設置した3Dスキャナーと、スマートフォンアプリを使い、自分の分身となる3Dアバターを作成。バーチャル空間で学長から学位記を受け取ったり、教員や友人と記念撮影ができるコンテンツを、学生団体「Q-PIT」と教職員及び株式会社VRCが共同で開発した。



## 日常に隠れた愛らしい顔「Hidden Face」

東京造形大学



「何かと制限が多い生活だからこそ、小さな発見が少しでも生活を楽しくしてくれるのではないか」—コロナ下で学ぶ学生の気持ちが込められた作品のひとつが、東京造形大学グラフィックデザイン専攻領域3年生、竹内友香さんの作品「Hidden Face」だ。竹内さんは、身の回りにある様々なものが顔に見える現象に着目し、日常に隠れた愛らしい「顔」を色鮮やかなグラフィック作品へと昇華させた。作品を見る者も、その愛らしさに思わず笑みがこぼれ、気が付けば自宅や街中に「顔」を探してしまう作品だ。

「Hidden Face」グラフィックデザイン専攻領域3年生 竹内 友香

## 児童向け工作を紹介



摂南大学

**摂**南大学住環境デザイン学科榊愛准教授のゼミ生らが、コロナ禍でもコミュニケーションの輪を広げようと大阪府門真市第七中学校区地域会議と連携し、児童をターゲットとした『いとーくんと!』をYouTubeで配信。ゼミ生が考案したキャラクター“はりねずみのいとーくん”がペットボトルや段ボールを使った工作を紹介し、寄せられた作品の写真で展示会も予定。段ボールの頑丈な組み方など、ものづくりを楽しみながら防災に役立つ知識を紹介していく。



## 子育て支援動画の作成 聖徳大学

**聖**徳大学・聖徳大学短期大学部では子育て中の親とその子どもの交流の場として「おやこで“ゆるりん”」を2015年に開設。保育者を目指す学生たちが子どもたちに絵本の読み聞かせや学生のピアノ伴奏にあわせて歌を歌つたりと交流を深めてきた。コロナ禍で、お家時間を楽しんでもらえるようWeb動画を制作。写真は、学生たちが普段活動している、「おやこで“ゆるりん”」の館内をおうちに見立て、実写によるコマ撮り動画を制作している様子。

## 地域と共に取り組む防災啓発活動

大阪国際大学



**大**阪国際大学の地域防災啓発活動を行っているプレッパーズ部(防災サバイバルクラブ)が近隣自治体の危機管理室の協力を得て、地域住民の防災スキルの普及のために10本の「防災啓発動画」を作成した。コロナ禍以前は対面で活動していた防災グッズづくりを動画化しYouTubeで発信。「緊急時に役立つ防災グッズ」をテーマに三角巾、防災ランプなど身近なものでつくれる内容となっている。